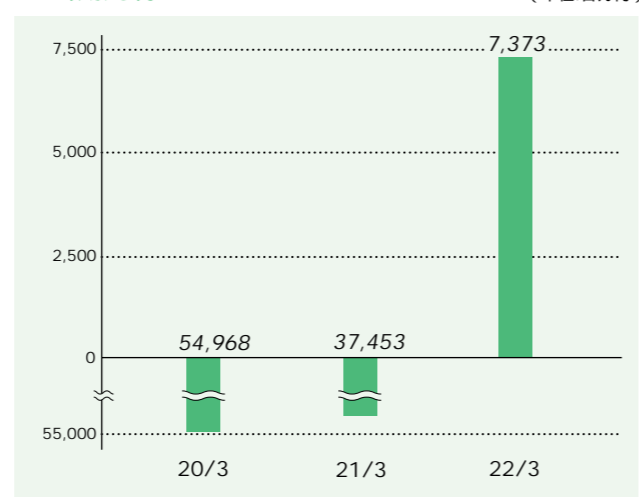


連結ベース

損益状況

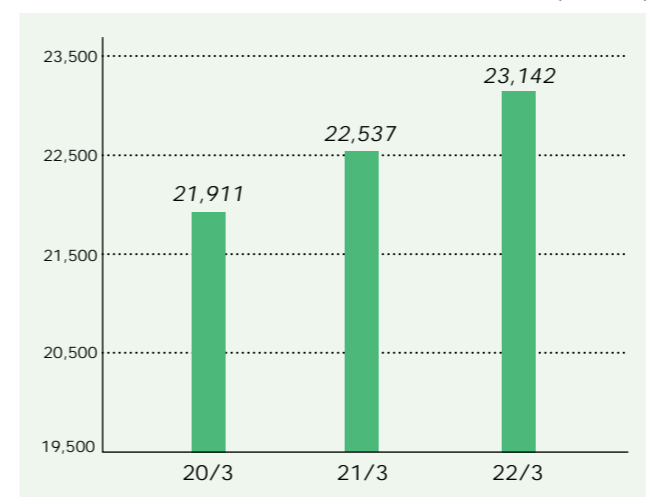
科目	平成20年度	平成21年度	前年同期比
経常収益	83,201	66,151	17,050
経常費用()	117,937	59,737	58,200
経常利益	34,736	6,413	41,149
与信関連費用()	13,745	10,932	2,813
当期純利益	37,453	7,373	44,826

当期純利益

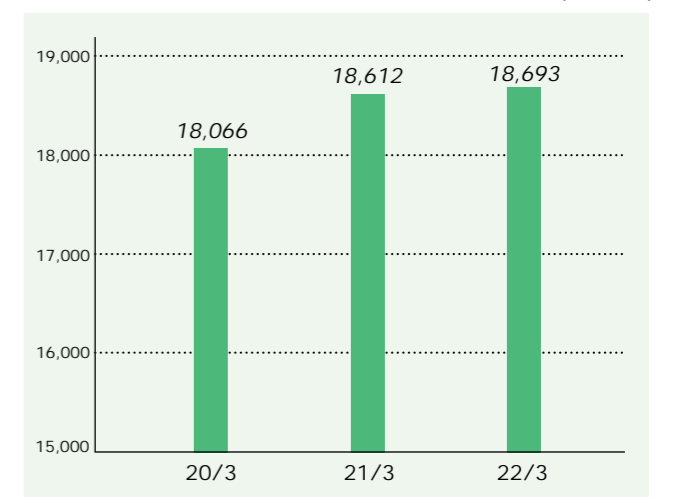


単体ベース

預金残高



個人預金

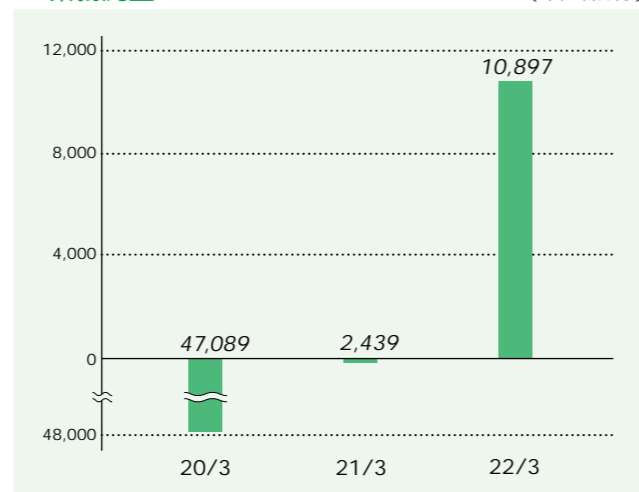


単体ベース

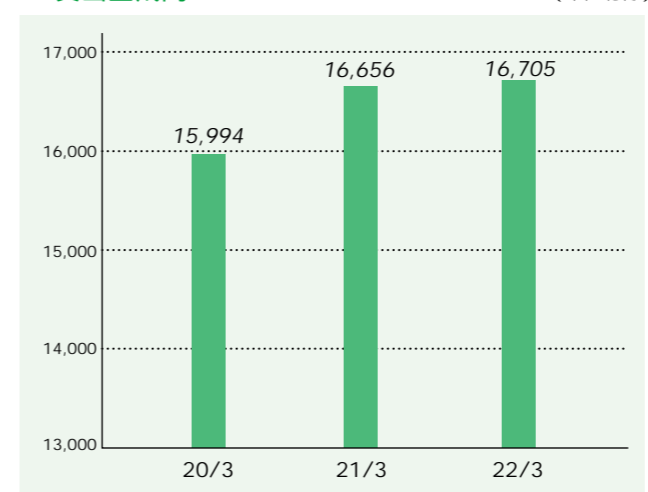
損益状況

科目	平成20年度	平成21年度	前年同期比
業務粗利益	29,554	41,892	12,338
資金利益	41,794	31,400	10,394
役員取引等利益	3,293	4,068	775
その他業務利益	15,533	6,423	21,956
経費()	27,380	25,174	2,206
うち人件費()	11,708	10,808	900
うち物件費()	14,176	13,078	1,098
コア業務純益	17,943	10,054	7,889
業務純益	2,439	10,897	13,336
経常利益	34,150	5,935	40,085
与信関連費用()	12,445	9,929	2,516
当期純利益	37,234	7,104	44,338

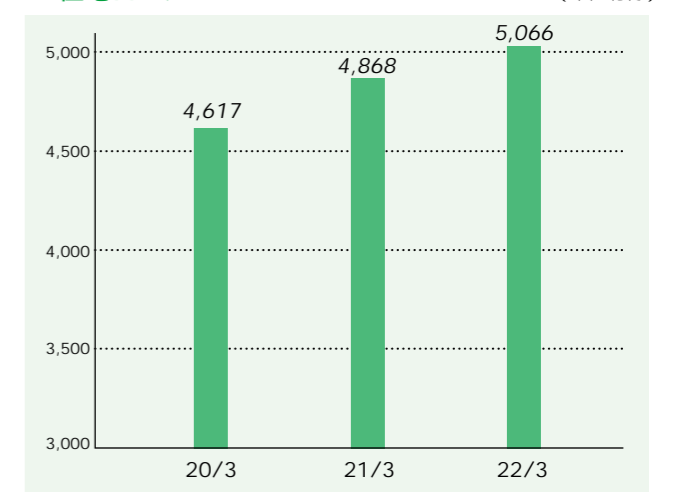
業務純益



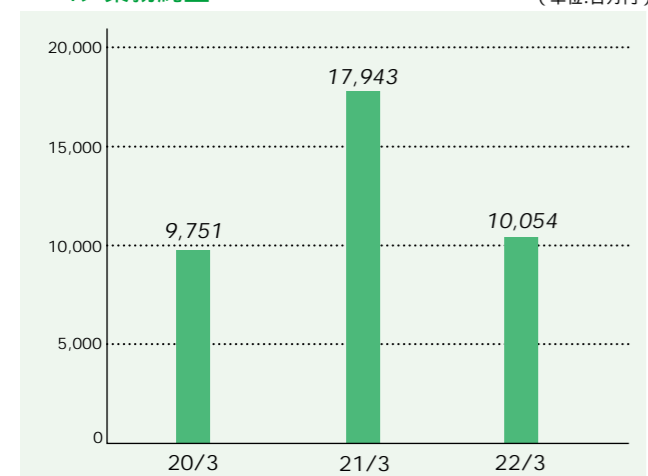
貸出金残高



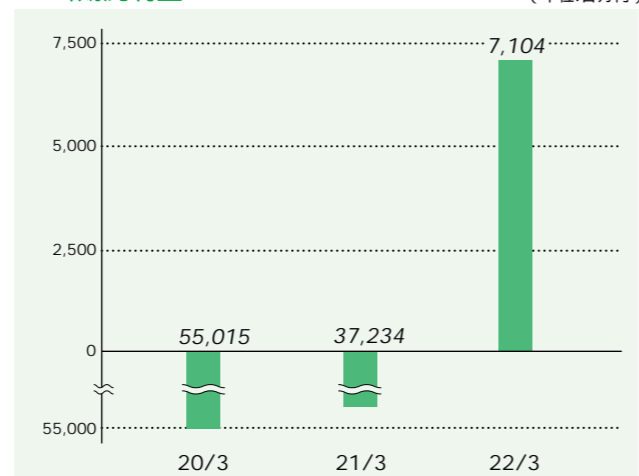
住宅ローン



コア業務純益



当期純利益



業績の概要

(損益の状況)

当連結会計年度の経営成績は、経常収益が有価証券利息や有価証券売却益の減少等により、前連結会計年度比170億50百万円減少して661億51百万円となりました。一方、経常費用が前期に有価証券の含み損をほぼ一括して資産の健全化を図ったことから、有価証券の売却損や償却費用が大幅に減少し、前連結会計年度比582億円減少して597億37百万円となりました。

この結果、経常利益は64億13百万円(前連結会計年度は347億36百万円の経常損失)となりました。また、当期純利益は73億73百万円(前連結会計年度

は374億53百万円の当期純損失)となりました。

当行単体の業務純益は、引き続き業務の効率化を進め、人件費や物件費などの経費が前年同期比22億6百万円減少したことに加え、国債等債券損益が前年のマイナスからプラスに改善したことから、与信関連費用99億29百万円を計上しながらも、133億36百万円増加して108億97百万円となりました。

経常利益は、株式等関係損益を計上したほか、引き続き資産の健全化を進めた結果、59億35百万円(前年度341億50百万円の経常損失)、当期純利益は